

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」新潟西校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を 1 名以上配置（常勤換算による算定）しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		建物の構造上、玄関の入り口の扉が重くガラス張りであり、怪我に繋がる場所です。暑さ寒さ防止以上に、安全確保を優先し、常時開放状況で固定するようにしております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の掃除に加え、1 時間毎に換気/支援スペースの消毒を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼/終礼時の申し送りに加え、毎月ミーティングを行い、日々の業務や支援について話し合う機会を設けています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を行い、業務改善に繋げています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社 HP で公開しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、利用者・社内の 2 者評価となっております。今後必要に応じて実施の検討をいたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達支援研究所が主催の研修を主とし、地域で開催される研修に参加しています。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		支援後のフィードバックを通して、家庭での様子などの情報収集を行い、全体で共有しながらアセスメントしております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		計画期間毎にアセスメントを取った上で、個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントをもとに、優先順位をつけて具体的な支援内容を設定し、個別支援計画を策定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		アセスメントをもとに、優先順位をつけて具体的な支援内容を設定し、個別支援計画を策定、支援を実施しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援のため、プログラムは支援者が主に立案していますが、必要に応じてミーティングを行い、児童発達支援管理責任者を中心に活動プログラムについて検討しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		指導員同士で活動内容について情報交換することで、偏りや固定化しないよう意識しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		基本的には個別療育を主としているため、集団は月に1回程度の頻度となります。その際のお子様の行動の表れを見ながら、集団での関わり方や伸びしろを計画に反映し個別支援に生かしております。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼/終礼にて申し送りを実施し、情報共有を行っております。	

				<p>また、シフト制になっていることで情報共有ツールを作成し、伝達事項が漏れないよう心掛けています。</p> <p>また、必要に応じてミーティングを行い、イベント前後は必ず全体で情報共有を行います。</p>		
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		<p>朝礼/終礼にて申し送りを実施し、情報共有を行っております。</p> <p>また、シフト制になっていることで情報共有ツールを作成し、伝達事項が漏れないよう心掛けています。</p> <p>また、必要に応じてミーティングを行い、イベント前後は必ず全体で情報共有を行います。</p>		
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<p>毎回支援記録を取り、見直すことで支援内容の検証や改善に役立てています。</p>		
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		<p>保護者や担当相談員とも情報共有を行い、判断しております。</p>		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		<p>児童1人ずつの担当制をとっておりませんが、教室全体で児童の状況を共有し、会議に参加しています。</p> <p>会議には児童発達支援管理責任者が主に参加しておりますが、時間の許す限り指導員も同行して参加するようにしております。</p>	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		<p>支援の内容・様子の伝達について、情報共有を行っております。</p>	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				<p>該当児童がおりません。</p> <p>利用がある場合には、連携した支援展開を行います。</p>

	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当児童がありません。 利用がある場合には、連携した支援展開を行います。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、園訪問や連絡票等を用いて情報共有を行っております。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、学校訪問や連絡票等を用いて情報共有を行っております。	実施に向けて、今後も継続して学校へ発信していきます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		支援の質の向上ができるように、積極的に研修等に参加できるようにしております。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから、実施しておりません。 個々のお子様の状態に応じ、必要があれば支援計画に位置付けたくうえで実施いたします。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		コロナ禍での人数制限などもあり、児童発達支援管理責任者のみになっておりますが、積極的に参加しております。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎支援終了後、保護者へのフィードバックの時間を設けています。 必要に応じて事業所内相談を行い、面談も行っております。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	支援後のフィードバックや事業所内相談にて、ペアレント・トレーニングやプログラムのエッセンスをお伝えしております。 また、今後も研修等に積極的に参加し、家族支援を行っていきます。	
保護者へ	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規定、利用者負担等について契約時に説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しております。	

の 説 明 責 任 等				具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明する等、丁寧な説明を心掛けております。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援系悪を作成した際、必ず保護者様に丁寧な内容説明を行い、同意をいただいております。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年に数回、保護者イベントを開催し、保護者同士の連携を深めておりました。今年度はコロナの地域状況を鑑み、実施しておりません。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所に苦情受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しております。頂いた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。イベント時に写真撮影・掲載をすることがありますが、保護者の皆様に許可を得て顔を全て隠す形での掲載としております。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童・保護者の状態に応じて、ICT やその他視覚的情報などを活用して意思疎

				通・情報伝達等を実施しております。また、合理的配慮に関しても尽力しております。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	教室によっては指導の様子を公開や、教室解放の時間を設けております。当教室は、無料体験会や見学会を実施しております。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルを策定し、研修を実施しております。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	月 1 回の避難訓練を実施しています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○	面談時に確認を行い、教室全体で情報共有をしています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		きらりで食事提供はしておりません。 アレルギー症状があるお子様の情報は全体で共有しております。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有します。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。 保護者へは契約時に説明を行い、個別支援計画特記事項にも記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新潟西校

保護者等数（児童数）：9 回収数：8 割合：88%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	4		個別支援計画の作成/説明を今まで以上に丁寧に/わかりやすく実施して参ります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	2	4		ご利用児童のご兄弟(姉妹)と関わるがありますが、教室として交流は行っていません。ご希望がある場合、検討して対応させていただきます。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	1		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	0	5		ペアレントプログラムやトレーニングといった形での家族支援は実施できておりません。利用毎のフィードバックや事業所内相談にて、エッセンスを取り入れながら対応方法などを提案させていただいております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	1	6		年に数回、保護者イベントを開催し、保護者同士の連携を深める機会を設けておりましたが、今年度は実施しませんでした。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	0	0	2		教室内に活動内容やイベントのご案内提示をしております。また、SNSを通じて活動様子をご覧いただけます。
非 常 時 等 の 対 応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	0		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	1	0	3		マニュアルを策定し、研修を実施しております。
満 足 度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	2		月1回の避難訓練を実施しており、玄関に様子を掲示しております。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	2	0	0	勝ち負けの要素がある内容に不安がある。	お子様の様子によって支援内容を変更しておりますが、不安を感じた際はすぐにお申し付けください。

⑬	事業所の支援に満足しているか	7	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。 ・苦手に向き合うのが良いことなのか悩んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらこそ、ご利用いただきありがとうございます。 ・支援では、可能な限りお子様に「できた」と感じてもらえるよう、得意をサポートしたいと考えております。 <p>保護者様の思いの中で苦手と向き合う時間を必要とされた場合は、お子様の様子によって支援内容を検討しております。ご希望やお悩みはその都度変わるとは思いますが、何かあればいつでもお聞かせください。</p>
---	----------------	---	---	---	---	---	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。